

最近の調剤医療費（電算処理分）の動向
平成 24 年 7 月

○ 概要

(1) 平成 24 年 7 月の調剤医療費（電算処理分に限る。以下同様。）は 5,402 億円（伸び率（対前年度同期比、以下同様。）4.2%）で、処方せん 1 枚当たり調剤医療費は 8,314 円（伸び率▲0.2%）であった。（→P.1-2）

調剤医療費の内訳は、技術料が 1,401 億円（伸び率 6.5%）、薬剤料が 3,991 億円（伸び率 3.4%）で、薬剤料のうち、後発医薬品が 399 億円（伸び率 22.6%）であった。（→P.4）

3要素分解 （→P.8-9）	処方せん1枚当たり 薬剤料	処方せん1枚当たり 薬剤料種類数	1種類当たり 投薬日数	1種類1日当たり 薬剤料
実数	5,140 円	2.81 種類	21.7 日	84 円
伸び率（%）	▲1.6	+1.1	+2.0	▲4.6

(2) 薬剤料の約 85%を占める内服薬（3,340 億円（伸び幅（対前年度同期差、以下同様。）+87 億円）を薬効大分類にみると、21 循環器官用薬が 915 億円（伸び幅▲18 億円）と総額が最高で、11 中枢神経系用薬が伸び幅 40 億円（総額 536 億円）と伸び幅が最高であった。（→P.10）

年齢区分 （→P.10~13）	内服薬 総額 （伸び幅）	総額順（総額）		
		1 位	2 位	3 位
全年齢	3,340 億円 （+87 億円）	21 循環器官用薬 （915 億円）	11 中枢神経系用薬 （536 億円）	39 その他の代謝性 医薬品（411 億円）
0 歳以上 5 歳未満	39.5 億円 （+2.37 億円）	44 アレルギー用薬 （14.7 億円）	61 抗生物質製剤 （12.8 億円）	22 呼吸器官用薬 （5.6 億円）
5 歳以上 75 歳未満	2,109 億円 （+37 億円）	21 循環器官用薬 （573 億円）	11 中枢神経系用薬 （346 億円）	39 その他の代謝性 医薬品（279 億円）
75 歳以上	1,191 億円 （+48 億円）	21 循環器官用薬 （342 億円）	11 中枢神経系用薬 （190 億円）	23 消化器官用薬 （133 億円）

(3) 処方せん 1 枚当たり調剤医療費を都道府県別にみると、全国では 8,314 円（伸び率▲0.2%）で石川県（10,652 円（伸び率▲2.2%））が最高で、佐賀県（7,041 円（伸び率 1.1%））が最低であった。

また、伸び率は青森県（伸び率 1.9%）が最高で、石川県（伸び率▲2.2%）が最低であった。（→P.25-26）

【後発医薬品薬剤料】 399 億円（伸び率：22.6%、伸び幅 74 億円）（→P.34）

【後発医薬品割合】（→P.33）

	後発医薬品割合	伸び幅
数量ベース	27.9%	+4.9%
薬剤料ベース	10.0%	+1.6%
（後発品調剤率 ^注 ）	51.5%	+4.3%

注）全処方せん枚数のうち後発医薬品を調剤した処方せん枚数の割合

【後発医薬品 年齢階級別】（→P.34~35）

	全体	最高	最低
後発医薬品薬剤料の伸び率	+22.6%	+28.7% （75 歳以上）	+10.2% （5 歳以上 10 歳未満）
後発医薬品割合（薬剤料ベース）	10.0%	11.0% （65 歳以上 70 歳未満）	6.3% （10 歳以上 15 歳未満）

【後発医薬品（内服薬） 薬効分類別】（→P.36~37）

	全体	最高（薬効大分類）
総額	356 億円	94 億円（21 循環器官用薬）
総額の伸び幅	+71 億円	+22 億円（21 循環器官用薬）
総額の伸び率	+24.7%	+111.7%（11 中枢神経系用薬）

年齢区分 （→P.36~40）	内服薬 総額 （伸び幅）	総額順（総額）		
		1 位	2 位	3 位
全年齢	356 億円 （+71 億円）	21 循環器官用薬 （94 億円）	23 消化器官用薬 （72 億円）	39 その他の代謝性 医薬品（36 億円）
0 歳以上 5 歳未満	3.2 億円 （+0.37 億円）	22 呼吸器官用薬 （1.03 億円）	61 抗生物質製剤 （0.85 億円）	44 アレルギー用薬 （0.61 億円）
5 歳以上 75 歳未満	221 億円 （+38 億円）	21 循環器官用薬 （62 億円）	23 消化器官用薬 （42 億円）	39 その他の代謝性 医薬品（26 億円）
75 歳以上	132 億円 （+32 億円）	21 循環器官用薬 （33 億円）	23 消化器官用薬 （30 億円）	11 中枢神経系用薬 （15 億円）

【後発医薬品 都道府県別】（→P.50-54）

	全国	最高	最低
処方せん 1 枚当たり後発医薬品薬剤料	614 円	896 円（岩手県）	485 円（佐賀県）
処方せん 1 枚当たり後発医薬品薬剤料の伸び率	+17.5%	+25.9%（鳥取県）	+8.0%（沖縄県）
後発医薬品割合（数量ベース）	27.9%	40.8%（沖縄県）	23.1%（秋田県）
後発医薬品割合（薬剤料ベース）	10.0%	13.5%（鹿児島県）	7.6%（徳島県）
後発医薬品調剤率	51.5%	65.5%（沖縄県）	45.1%（徳島県）

〔利用上の留意点〕

(1)分析対象レセプトの特徴

- 審査支払機関（社会保険診療報酬支払基金及び国民健康保険団体連合会）において、レセプト電算処理システムで処理された調剤報酬明細書のデータを分析対象としている。
- 平成 24 年 7 月現在の電算処理割合は、処方せん枚数ベース、医療費ベースともに約 99%である。

(2)表章期間

- 平成 16 年 10 月調剤分からデータは収集しているが、伸び率の分析を主眼としているため、統計表上の表章期間は平成 17 年 10 月以降とした。